

ほけんだより



令和6年4月8日（月）
養護教諭 下西 美保

4月の保健目標：自分の体のことを知ろう

ご入学・ご進級おめでとうございます！
新しい1年のスタートです。

けんこうしんだん

健康診断がはじまります

事前の提出物や服装、持ち物など、準備をよろしくお願ひします。

項目	対象	日時	準備物・連絡
体位測定 身長・体重 視力・聴力	全学年 聴力は4・6年 は実施なし	4月12日（金） 2時間目	準備：体操服・めがね（つかっている人） 髪は耳より上でおすんだり、ピンでとめたりしない。
尿検査	全学年	4月25日（火）	4月24日（月）に容器をくばります。 4月26日（水）は予備日です。
眼科検診	全学年	4月25日（水） 14：00～	
心臓検診	1・4年	5月9日（木） 11：30～	準備：体操服 男女別で実施します。
歯科検診	全学年	5月15日（水） 14：00～	当日の朝はていねいに歯みがきをします。
内科検診	全学年	6月13日（木） 14：00～	準備：体操服 男女別で実施します。

事前の提出物 【 「ほけんれんらくぶくろ」で配付・回収します。 】

	連絡事項	配付日	提出期限
保健調査票	各学年の枠に黒ペンで記入してください。 通年で使用する項目に変更があれば、朱書きで追記ください。	1年：保護者説明会で配付済 2～6年：4月8日（月）	4月16日（火）
心臓検診問診票 （1・4年対象）	黒ペンで記入してください。	1年：4月10日（水） 4年：4月8日（月）	
運動器検診問診票		5月7日（火）	5月14日（火）
結核検診問診票			

4月から赴任しました、養護教諭の下西美保です。

滝尾小のみなさんが、元気でえがおですごせるように、サポートをしていきます。ケガや体調が悪いとき、お話を聞いてほしいときなど、いつでも保健室にきてくださいね。



ほけんしつ

保健室のつかいかた 保健室は、けがや病気の手当や心や体の相談をすることができる場所です。

1 **授業中でも休み時間でも、担任の先生にお話しをしてから保健室に來ます。**

2 **いつ・どこで・何をしていた・どうなったか、詳しく説明をします。**

3 **ケガの手当は、その日学校でケガをしたものです。**

絆創膏や湿布の交換が必要な人はお家から持ってくるようにしてください。

4 **保健室での休養は1時間までです。**

休養しても回復しない場合は、お家の人に連絡をします。

5 **保健室では、基本的に薬を使用しません。**

消毒薬は、消毒することが望ましい環境でのケガに限り使用することがあります。

かゆみ止めは使用せず氷でひやします。ひやすことが望ましくない部位に限り、使用することがあります。

湿布については、副反応として皮ふの炎症をおこす可能性があるため使用しません。



☆学校管理下でケガをされ医療機関を受診された場合は

「日本スポーツ振興センター」の災害給付の対象となる場合ため、ご連絡ください。

御船町の子ども医療助成は、学校管理下でのケガは助成対象となっておりません。



かんせんしょう

感染症について

以下の感染症にかかった時は速やかに学校にご連絡ください。学校での流行を防ぐ観点から出席停止になります。

	感染症の種類	出席停止期間の基準
1種	【エボラ出血熱・クリミアン出血熱・痘そう・ペスト・マルブル病・ラッサ熱・急性灰白髄炎・南米出血熱・ジフテリア・重症急性呼吸器症候群・中東呼吸器症候群】 治療するまで出席停止	
2種	インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで
	新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌薬療法による治療が終了するまで
	麻疹（はしか）	解熱した後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫張が発現した後5日を経過、かつ、全身状態が良好になるまで
	風しん	発しんが消失するまで
	水痘	全ての発しんがかさぶたになるまで
	咽頭結膜熱	主要症状が消退した後2日を経過するまで
	結核 髄膜炎菌性髄膜炎	感染のおそれがなくなるまで
3種	腸管出血性大腸菌感染症、流行性角結膜炎（はやり目）、急性出血性結膜炎	感染のおそれがなくなるまで
3種 その他 ※流行を防ぐために必要があれば出席停止の措置をとる。	感染性胃腸炎	下痢、嘔吐症状の回復後、全身状態が良いものは登校可。
	溶連菌感染症	発熱、のどの腫脹・痛み、体幹部に発疹。抗生剤治療開始後24時間を経て全身状態が良ければ登校可能。
	ウイルス性肝炎	A型は肝機能が正常化すれば登校可能。B型C型については出席停止にする必要はない。
	伝染性紅斑（リンゴ病）	発疹期には感染力はほとんどなく登校可能。
	手足口病	発熱期や口腔内の水疱、潰瘍のため摂食できない場合は出席停止。症状の安定したものは登校可能。
	ヘルパンギーナ マイコプラズマ感染症	症状が改善し全身状態がよい場合は登校可能。 感染力の強い急性期が終わり、全身状態がよい場合は登校可能。